

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅢC (English 3C)					担当教員	池 優子 (イケ ユウコ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL・ 資格対応科目
	2011-0-31-013	教養科目	必修	2単位	3年次	通年		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/ 資格対応科目
	2411-0-31-011	教養科目	必修	2単位	3年次	通年		

① 授業のねらい・概要						
英語の捉え直しを目的とするテキストで異文化に触れ、言語としての英語だけでなく、英語を話す国の歴史や民族、宗教、スポーツ、芸術などについて読み、日本との違い、ひいては自分のアイデンティティも考えるきっかけとしたい。自ら「考えながら」聞き、学生間で多様な意見の共有をしながら、コミュニケーション能力（他者との協働力）の発達と視野を広げることを目指す。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
コミュニケーション能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
学生が主体的に、各トピックに対して自分の体験を伝えたり、相手の話を聞き、自分の意見を伝えるなどのペアワークまたはグループワークによる参加型。文法事項などは確認のための小テストを行う。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
英語Ⅰ、Ⅱ						
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。						
森田彰 他（2017）「TARGET！ elementary」金星堂						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）						
アンケートによると、学生が主体的に学習するスタイルでのインタラクティブな授業を通して、自分ができたことが自信につながっている。学生が相互に影響し合い、気づきを得ている。よって、一方的ではない参加意識を望む。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 読解力：150語程度の文章を読み、単語の意味や内容を理解できる						
(2) 文法理解：教科書の会話リスニングの内容を理解できる。文法問題を理解し、作文ができる。						
(3) 表現力：各テーマに即した情報をリサーチし、プレゼンテーションで伝えることができる						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	読解力	150語程度の文章を読み、単語の意味や内容を正しく理解できる	150語程度の文章を読み、単語の意味や内容を概ね理解できる	150語程度の文章を補助機器を使いながら読み、単語の意味を調べながら内容を理解できる	150語程度の文章を補助機器を使いながら読み、単語の意味を調べ、内容をなんとなく理解できる	150語程度の文章を読めず、単語の意味や内容を理解できない
(2)	文法理解	教科書の会話リスニングの内容を理解できる。文法問題を理解し、5文以上作文ができる	教科書の会話リスニングの内容を理解できる。文法問題を理解し、5文程度の作文ができる	教科書の会話リスニングの単語を聞き取ることができる。文法問題を理解し、3文程度の作文ができる	教科書の会話リスニングの単語を聞き取ることができないが、文法問題を理解し、3文程度の作文ができる	教科書の会話リスニングの単語を聞き取ることができず、文法問題を理解できず作文ができない
(3)	表現力	各テーマに即した情報をリサーチし、プレゼンテーションで自分の意見も伝え、質問に答えられる	各テーマに即した情報をリサーチし、プレゼンテーションができる	各テーマに即した情報をリサーチし、短いものなら原稿を見ながらプレゼンテーションができる	各テーマに即した情報をリサーチがうまくできないが、短いものなら原稿を見ながらプレゼンテーションができる	各テーマに即した情報をリサーチできず、プレゼンテーションができない

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	60%	10%		20%	10%		100%	
(1) 読解力	30%	5%					35%	
(2) 文法理解	30%	5%					35%	
(3) 表現力				20%	10%		30%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	小テストは解答と解説、プレゼンテーションは評価表記入							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	オリエンテーション ・自己紹介の表現	今までの総復習						90分
2	英語文法の確認	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
3	Unit 1	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
4	Unit 1 グループプレゼンテーション	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
5	Unit 2	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
6	Unit 3	プレゼンテーション準備						90分
7	Unit 3 グループプレゼンテーション	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
8	Unit 4	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
9	Unit 5	プレゼンテーション準備						90分
10	Unit 5 グループプレゼンテーション	単元小テストの予習						90分
11	Unit 6	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
12	Unit 6 SDGsの視点	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
13	Unit 7	プレゼンテーション準備						90分
14	Unit 7 グループプレゼンテーション	前期の復習						90分
15	前期のまとめ	前期の復習						90分
16	Unit 8	夏休みについての作文						90分
17	Unit 8	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
18	Unit 9	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
19	Unit 9	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
20	Unit 10	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
21	Unit 10	単元小テストの予習						90分
22	Unit 11	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
23	Unit 12	プレゼンテーション準備						90分
24	Unit 12 グループプレゼンテーション	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分
25	Unit 13	進出単語の復習、知らない単語の予習						90分

26	Unit 14	進出単語の復習、知らない単語の予習	90分
27	Unit 15	進出単語の復習、知らない単語の予習	90分
28	プレゼンテーション準備	プレゼンテーション準備	90分
29	プレゼンテーション	後期の復習	90分
30	後期のまとめ	後期の復習	90分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を基本とするが、一部協同学修型 AL を採用する。テキストが提示する学生の身の回りのテーマから主体的に課題を選び、調べ、まとめてグループワークやディスカッションをする。まとまったものをプレゼンテーションにてシェアをし、学生同士も評価をする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性